

研究スタッフ (五十音順)



立本 成文
たちもと なりふみ

- 所長
- バックグラウンド：東南アジアの地域研究、社会文化生態力学、社会学、文化人類学
- 現在の研究テーマ：総合地球環境学の構築

マレーシア、インドネシアを中心とする東南アジアの地域研究に1960年代から関わってきました。地域研究を社会文化生態力学に基づく空間設計科学と位置づけたこともあります。自然、社会、文化の統合的研究に腐心してきました。それは同時に、「地域」という概念がそのような学問領域を設定するに当たり、なぜ理論的優位性を与えられるのかという疑問への解答の模索でもあります。東南アジアという地域を限定しながら、常に地球世界を視野に入れて、オセアニアは勿論、中国、インド、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカまでも東南アジアの延長として考えて見るようにしています。このような地域研究の総括として、総合地球環境学の構築と学問領域としての確立に努力していきたいと思っています。

●略歴

1940年 10月生まれ
1967年 3月 京都大学大学院文学研究科修士課程（社会学専攻）修了
1974年 6月 シカゴ大学Ph.D（人類学）
1980年～2002年 京都大学東南アジア研究センター教授
1998年～2002年 京都大学東南アジア研究センター所長
2002年～ 京都大学名誉教授
2002年～2007年 中部大学国際関係学部教授
2002年～2004年 中部大学国際関係学部長
同大学院国際関係学研究科長
2004年～2007年 中部大学大学院国際人間学研究科長
2007年 4月～ 現職

●受賞歴

1990年 毎日新聞社 第2回アジア・太平洋賞 特別賞／大同生命地域研究賞 奨励賞
2003年 紫綬褒章

●主な研究業績

『東南アジアの組織原理』勁草書房 1989年
『東南アジアの文化（編著）』弘文堂 1991年
『家族圏と地域研究』京大出版会 2000年
『地域研究の問題と方法（改訂増補）』京大出版会 2001年
ほか多数

●社会活動

1991年～1998年 文部省学術国際局科学官兼任
1995年～1997年 ユネスコ社会科学プログラム（MOST）科学運営委員会副委員長
2003年～ りそなアジア・オセアニア財団理事長
2006年～ 財団法人アジア研究協会理事長



秋道 智彌
あきみち ともや

- 副所長、研究部教授、プロジェクト4-2FR
- バックグラウンド：生態人類学

メコン河流域の生態史研究も最後の年となります。すでに図録を完成し、その英語版と3巻の論集『アジア・モンスーンの生態史』の出版を目指します。



井上 隆史
いのうえ たかし

- 国内客員教授、NHK放送総局エグゼクティブプロデューサー、プロジェクト2-5FR

番組制作の過程で文明と自然との関わりに興味を持ち、テレビの世界で、文明の興亡を描くことに挑戦してきました。その経験を研究の中で活かせればと思います。



安渡 敦史
あんど あつし

- 研究部 プロジェクト研究員
- バックグラウンド：地質学古生物学、同位体地球化学、古海洋学

安定同位体を共通の言葉とした、包括的・独創的な地球環境研究の展開に貢献できるよう努めていきたいと思っています。



伊吹 直美
いぶき なおみ

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト5-4FR
- バックグラウンド：植物育種学

環境疾患プロジェクトを通して、人と自然、双方にとって幸せなつき合い方について考えていきます。



石飛 智稔
いしとび ともとし

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト2-4FR
- バックグラウンド：地下水学

地下水流動系の末端現象である海底地下水湧出について、水輸送だけでなく汚染物質などの物質輸送の点も含めて、野外調査を中心に研究を行っております。



入江 有紀
いりえ ゆき

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト1-3FR
- バックグラウンド：英文学、家政学

これまでに培ってきた知識と経験を最大限に活かし、プロジェクトの円滑な運営を目指し、積極的に研究を支援します。



市川 昌広
いちかわ まさひろ

- 研究部准教授、プロジェクト2-2FR
- バックグラウンド：東南アジア地域研究

東南アジア島嶼部を中心に、熱帯林の劣化・減少問題について、地域の社会・文化・生態的狀況を明らかにしながら考えています。



上杉 彰紀
うえすぎ あきのり

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト3-3FR
- バックグラウンド：考古学

南アジアをフィールドとして社会の複雑化と都市社会・文化の形成過程を研究してきました。自然環境を改変しながら進行する社会の複雑化という現象を、両者の双方向の関係性の変化という視点から研究していきたいと考えています。



内井 喜美子
うちい きみこ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-4FR
- バックグラウンド：微生物生態学、生態学

感染症の発生・拡大と人間活動との関わり合いを明らかにし、感染症の蔓延を防ぐ環境とはどのようなものか考えます。



内山 純蔵
うちやま じゅんぞう

- 研究部准教授、プロジェクト4-4FR・2-5FR・3-3FR・5-3FR
- バックグラウンド：先史人類学、動物考古学

現代の景観を形作るのに大きな影響を及ぼした新石器化と現代化の二つの時期に生じた景観の変動とその原因を解明・比較するプロジェクトを始めました。



梅澤 有
うめざわ ゆう

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト2-4FR
- バックグラウンド：海洋化学、生物地球化学、海洋生物学

人為起源物質の海域への流入が海洋生態系に与える影響を把握することを目的とし、安定同位体などを用い沿岸域の物質循環の解明に取り組んでいます。



梅津 千恵子
うめつ ちえこ

- 研究部准教授、プロジェクト1-3FR・2-1FS
- バックグラウンド：生物学、国際関係学、環境資源経済学、開発経済学

アフリカやアジアの農村が直面する環境と貧困の問題をレジリアンスという視点から考えます。人と環境・資源の関わりを通して「人の顔の見える」研究を目指します。



遠藤 崇浩
えんどう たかひろ

- 研究部助教、プロジェクト2-4FR
- バックグラウンド：政治学

「政府の役割」「市場の役割」という分析枠組みを基礎に、水源管理、地下水管理、水利権市場といったトピックを考察しています。



大石 太郎
おおいし たるう

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-2FR
- バックグラウンド：環境経済学、経済理論、計量経済学

現代マイクロ経済学の基盤となっている合理的選択理論を軸として環境評価・倫理等の概念を再検討し、環境問題における市民的役割の意義を探究しています。



大西 暁生
おおいし あきお

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト1-2FR
- バックグラウンド：環境システム工学

中国の急速な発展は、資源の過剰利用によって支えられています。地球研では、黄河流域を対象に、社会経済の進展に伴う水資源への影響を研究します。



大西 健夫
おおにし たけお

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト2-3FR
- バックグラウンド：水文学

人間と自然が織りなす水のダイナミズムは、複雑系そのものだと思います。アムール川の水循環研究を通して、複雑性に潜む原理に迫りたいと思います。



大西 秀之
おおにし ひでゆき

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト4-4FR・4-2FR
- バックグラウンド：人類学、考古学

アイヌ文化やフィリピン山地民を対象とした調査研究を行ってきました。現在は、人間が環境に働きかけるなかで育んできた「知識」や「技術」に注目しています。



大西 正幸
おおにし まさゆき

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト3-3FR
- バックグラウンド：言語類型論、記述言語学

南アジアに分布する諸言語の特徴を、類型論／記述言語学の立場から明らかにし、インダス文明期の言語の復元、さらには文化／社会環境の復元に貢献したいと考えています。



小川 安紀子
おがわ あきこ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-2FR
- バックグラウンド：生態情報学、生物地球化学

生態学の研究・観測データを時間・空間スケールの大きな環境研究に幅広く活用できるような、生態学特有の情報マネジメントのあり方を考えていきます。



沖田 弘子
おきた ひろこ

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト2-5FR
- バックグラウンド：日本文化

プロジェクトのシンポジウムや研究会の企画、運営、広報などを行います。また外国との連絡業務に従事し、研究推進のためのパイプ役を努めたいと思います。



奥宮 清人
おくみやま きよひと

- 研究部准教授、プロジェクト3-4FR・4-2FR
- バックグラウンド：フィールド医学、老年医学、神経内科学

3大高地文明における人と自然の相互作用環を追求し、多様な自然、生態、文化のなかで、人の生老病死を総合的にとらえます。



長田 俊樹
おさだ としき

- 研究部教授、プロジェクト3-3FR
- バックグラウンド：言語学、南アジア研究

インドに長く滞在した経験から、インダス文明を研究対象に選びました。あまり研究されていない分野が多く、研究意欲に燃えています。



勝山 正則
かつやま まさのり

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト5-2FR
- バックグラウンド：森林水文学、林学

人為的・自然的インパクトに対する環境の変化と応答を、森林から河川・湖沼までを対象に、観測結果とモデルを用いて予測することを目標としています。



加藤 雄三
かとう ゆうぞう

- 研究部助教、プロジェクト4-5FR
- バックグラウンド：中国法制史

既成の組織体系に当てはまらない学問に面白味を感じます。社会環境を含む歴史の中での「環境」を再構成し、文章に表現することを目標としています。



川口 珠生
かわぐち たまき

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト2-3FR
- バックグラウンド：近代芸術、WEBデザイン

プロジェクトで得られたデータの発信と共有を担当します。魅力的なWEBデザインを追究することで広く公共に訴えるシステムを構築します。



川端 善一郎
かわばた ぜんいちろう

- 研究部教授、プロジェクト5-4FR
- バックグラウンド：微生物生態学、水域生態系生態学

人間の環境変化が感染症の発生拡大を招くという仮説を実証し、感染症を未然に防ぐ環境を明らかにします。



川本 温子
かわもと はるこ

- 研究部 プロジェクト研究員
- バックグラウンド：レーダ気象学、極低温物理学

アジアの雨量計データの整理・グリッド化を行っています。雨量の面から、気候変動解析の基礎データ作成を目指します。



木下 鉄矢
きのした てつや

- 研究部教授、プロジェクト1-2FR
- バックグラウンド：中国思想史

人間-自然関係の中で思想の果たす役割を探りたいと考えています。



木本 行俊
きもと ゆきとし

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト3-2FR
- バックグラウンド：植物形態学、植物解剖学、植物系統分類学

被子植物の繁殖器官である花や果実・種子の構造の多様性とその構造がもたらす機能を他の生物との相互関係も含めて明らかにしていきたいと思っています。



窪田 順平
くぼた じゅんぺい

- 研究部准教授、プロジェクト4-5FR・2-3FR
- バックグラウンド：森林水文学

専門である陸域の水循環研究をベースに、中央ユーラシアを対象として、人間と環境の相互作用の時間的な変遷、特に環境問題における境界の意義を明らかにしたいと考えています。



鞍田 崇
くらた たかし

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト2-5FR
- バックグラウンド：哲学、環境思想、工芸理論

ハイデガーを中心とした現代思想を手がかりに、現代における人とモノ、人と自然とのあるべき関係を哲学的に解明したいと考えています。



黒川 尚子
くろかわ しょうこ

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員
- バックグラウンド：環境社会学

成果の発信・プロジェクト共通の文書管理を行っています。イベントの企画・運営の経験やワードスペシャリスト資格を生かして研究支援を行っていききたいと思います。



神松 幸弘
こうまつ ゆきひろ

- 研究推進センター助教
- バックグラウンド：生態学、地理学

対象を選ばず、あらゆる事象について空間的な問題を扱う地理学を土台に分野横断型の研究を進めるための方法論開発に取り組みでいきたいと思っています。



斎藤 清明
さいとう きよあき

- 研究推進センター長・教授
- バックグラウンド：ジャーナリズム、自然学

自然をどのようにとらえたらいいのかと、かんがえています。



齋藤 暖生
さいとう ぬお

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト4-2FR
- バックグラウンド：林学、菌類民族学、コモンズ論

人々による植物や菌類の利用に着目することによって、自然環境と人間社会の相互作用関係とその時代的变化を理解する研究をしています。



佐伯 田鶴
さえき たづ

- 研究部助教、プロジェクト1-3FR
- バックグラウンド：大気物理学

気象場の解析、二酸化炭素やメタンなどの温室効果気体の循環の研究を通して、人間活動と自然環境の関わりを考えていきたいと思っています。



佐々木 尚子
ささき なおこ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-3FR
- バックグラウンド：植生史学、森林史、古生態学

過去数千年間の人間と森林の相互作用史について、堆積物中に保存されている花粉や炭化片の分析、歴史資料などを基に研究しています。



佐藤 雅志
さとう ただし

- 国内客員准教授、東北大学大学院生命科学研究所准教授、プロジェクト2-9FS
- バックグラウンド：遺伝生態学

耕地生態系における作物の環境適応と分化を研究してきました。地球研では環境を保全しつつ生産性を確保できる農業と生活のあり方を研究します。



佐藤 洋一郎
さとう よういちろう

- 研究部教授、プロジェクト2-5FR
- バックグラウンド：植物遺伝学

農耕のはじまりを「DNA考古学」などの手法で調べてきました。地球研では農業が環境を破壊するときのプロジェクトを立ち上げ、ムギ、イモ、イネの三つの穀物群の起源や伝播と生態系の変遷を調べます。



佐藤 嘉展
さとう よしのぶ

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト1-2FR
- バックグラウンド：森林水文学

中国黄河流域を対象として、自然要因だけでなく、人間活動の影響も視野に入れた水文・水資源モデルの開発を目指していきたいと考えています。



鄭 躍軍
ジェン ユエジュン

- 研究部准教授、プロジェクト5-2FR・2-7FS
- バックグラウンド：環境統計学、環境経済学、社会調査論

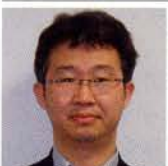
人間活動と環境変化との関連性、環境意識の構造とその影響要因をデータとしてとらえ、探索的に解明することにより、環境協調可能性を模索しています。



清水 宏美
しみず ひろみ

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト1-2FR
- バックグラウンド：国際関係学

中国を舞台とする研究活動の業務支援と出版物等プロジェクトの情報発信を、これまでの経験と専門性を生かしながらいっていきます。



承 志
しょう し

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト4-5FR
- バックグラウンド：中央ユーラシア史

世界有数の量を誇る中国第一歴史檔案館の大清国時代の多言語文献資料を用いて、自然環境と人間活動の相互作用に関する研究をしています。



白岩 孝行
しらいわ たかゆき

- 研究部准教授、プロジェクト2-3FR
- バックグラウンド：自然地理学、雪氷学

未知の地球環境の仕組みについて明らかにすることが研究者の本質的な役割であると考えています。アムール川を舞台にこの問題に取り組んでいます。



SIRINGAN,
Fernando Pascual
シリガン フェルナンド・バスカル

- 招へい外国人研究員、プロジェクト2-4FR
- バックグラウンド：堆積学、海洋地質学

マニラ湾と内陸貯水池の堆積コアを用いて、マニラの金属汚染・有機物汚染の履歴復元を行っています。



瀬尾 明弘
せお あきひろ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-3FR
- バックグラウンド：植物分類学、植物地理学

DNAなどの分子情報を用いて、環境変動に伴った日本列島における過去1万年の植物の分布の移り変わりを明らかにします。



関野 樹
せきの たつき

- 研究推進センター准教授
- バックグラウンド：陸水学

バックグラウンドとなる陸水学や生態学に関する研究の経験を活かしながらい、データベースなど、幅広い分野で利用できる情報基盤づくりをしていきます。



ZEBALLOS VELARDE,
Carlos Renzo
セバロス ベラルデ カロス レンゾ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト4-4FR
- バックグラウンド：都市計画、都市工学、建築

私は、水辺環境の持続可能な開発について特に関心があります。地理情報システムの開発にも取り組んでおり、いくつかの歴史遺産と環境保護に関する学際プロジェクトにも参加してきた経験を活かしていきたいと思っています。



園田 建
そのだ たける

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト3-3FR
- バックグラウンド：日本近代史

まったくの別分野との出会いです。インドといえばヒッピー、ビートルズ、精神世界。あまりの無知さに知的興奮の日々です。今までの経験で、プロジェクトを上手く、回していきます。



高木 麻由美
たかぎ まゆみ

- 研究部 プロジェクト研究員
- バックグラウンド：文芸表象学

文化と歴史的事象の相互関係を文献から見出すことに関心があります。人間文化と環境に関する文献調査を通じてプロジェクトに貢献したいと思います。



高相 徳志郎
たかそう とくしろう

- 研究部教授、プロジェクト3-2FR
- バックグラウンド：植物形態学

亜熱帯地域に生育する植物の特性を形態と機能の関係から明らかにしていますが、特にマングローブ植物とウミクサ類の受粉機構を研究対象にしています。



高橋 厚裕
たかはし あつひろ

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト1-2FR
- バックグラウンド：気象学（大気境界層）

黄河中流域の黄土高原の小麦畑において大気境界層の長期観測を行い、大気-地表面間の熱・水・二酸化炭素の交換量と混合層の発達過程を調べています。



高橋 敬子
たかはし けいこ

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト5-3FR
- バックグラウンド：情報学

図書・文献管理と学会事務局を担当してきた経験を生かして、プロジェクトの円滑な運営に寄与できるよう努力します。



竹澤 文香
たけざわ ふみか

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト2-7FS
- バックグラウンド：言語学、教育学

これまでの経験を活かし、特にデータ解析や資料収集・整理などを中心に、プロジェクトの研究活動が円滑に進むようサポートしていきたいと思ひます。



田中 克典
たなか かつのり

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト2-5FR
- バックグラウンド：植物細胞遺伝学、作物育種学、民族植物学

東アジアに固有の栽培植物とその遺物の遺伝学的解析、歴史資料及び民族資料を参考にしながら、ヒトとモノの移動について研究しています。



谷口 真人
たにくち まこと

- 研究部准教授、プロジェクト2-4FR・1-2FR
- バックグラウンド：水文学、地球物理学、地下水学、自然地理学

目に見えない地下の環境から、人の営みと自然の変化を統合的に読み解く研究を、国際研究機関と連携をとりながら進めていきます。



丹野 研一
たんの けんいち

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト2-5FR
- バックグラウンド：考古植物学、植物遺伝学

西アジアをフィールドに、農耕の起源と栽培作物の進化を研究しています。人間の農業活動が、環境をどのように変えてきたのか明らかにしたいです。



辻野 亮
つじの りょう

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-3FR
- バックグラウンド：森林生態学

森林を構成する樹木の生育環境と更新、およびそれにかかわる地形条件やサルによる種子散布、シカによる採食圧との関係を研究してきました。



寺島 元基
てらしま もとき

- 非常勤研究員、プロジェクト2-3FR
- バックグラウンド：環境化学、分析化学

環境化学や分析化学に関するこれまでの研究経験を活かし、自然環境中での物質動態に関わる化学現象の理解に取り組んでいます。



寺村 裕史
てらむら ひろふみ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト3-3FR
- バックグラウンド：考古学、文化財科学、情報科学

発掘調査などによって蓄積された物質文化固有の時空間情報をGIS（地理情報システム）を用いて統合し、古代の遺跡や文化の動態を、人間と環境との関わりの中で探っていこうと考えています。



中川 昌人
なかがわ まさと

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト3-2FR
- バックグラウンド：植物生態学、植物分類学

南西諸島に生育する植物の分布を標本情報から明らかにする研究を進めるとともに、西表島の植物種の遺伝的多様性の形成過程についての研究も行います。



長谷 千代子
ながたに ちよこ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト4-2FR
- バックグラウンド：文化人類学

中国雲南省で、民族文化政策と現地の人々の生活様式の影響関係を研究してきました。地球研では県誌資料に基づく雲南生態史データベースを作成しています。



中野 孝教
なかの たかのり

- 研究部教授、研究推進センター教授（兼）、プロジェクト2-4FR・5-3FR
- バックグラウンド：環境資源地質学、同位体地球化学

地球環境をめまぐるしく動く物質のルートを追跡ながら、人と自然との確かなつき合い方を考える「地球環境学」の新たなルートを探求して行きます。



中尾 正義
なかを まさよし

- 研究部教授、プロジェクト5-2FR
- バックグラウンド：氷河気候学、雪氷水文学

人と自然の相互作用という視点で歴史を見直したいと思っています。このことによって、未来に可能性のある価値観を創りだすヒントが得られるのではないのでしょうか。



西本 太
にしもと ふとし

- 非常勤研究員、プロジェクト4-2FR
- バックグラウンド：社会人類学、民族誌学

ラオスの人々は環境のなかにどんなカミ(神)を見出すのか。文化的意味の世界を介した人と環境のやり取りとその変化について研究しています。



野村 尚史
のむら なおふみ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト3-2FR
- バックグラウンド：植物生態学

野生植物における物質生産戦略の適応分化研究を通し、環境変動下での作物や雑草・希少種の保全・管理策について、生理生態学的な視点から検討します。



BAUSCH, Ilona
バウシ イローナ

- 招へい外国人研究員、プロジェクト4-4FR
- バックグラウンド：日本学、考古学、歴史

日本海と東シナ海沿岸を含む東アジア内海沿岸の交易活動についての研究を行います。沿岸地域の相互交流は縄文時代から現在まで、社会と環境、景観に深い影響を与えていると思います。



JAGO-ON, Karen
Ann Bianet
ハゴオン カレンアンバーネット

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト2-4FR
- バックグラウンド：社会経済学

都市の環境問題を社会経済学的観点から明らかにするため、アジア各地の自然・社会科学に関するメタデータの解析を行います。



橋村 修
はしむら おさむ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト4-2FR
- バックグラウンド：歴史地理学、民俗学、漁業社会史

水域、水産資源と人間活動との関わり(漁撈活動、魚の利用)をめぐる歴史、地域差、文化の解明を通して、人と自然との関係を追究し、問題提起していきます。



畑田 彩
はただ あや

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト2-2FR
- バックグラウンド：環境教育、熱帯生態学、個体群生態学

生態学に関する研究と博物館勤務の経験を活かしながら、研究者と一般市民の間に立ち、楽しくてわかりやすい教材開発を目指します。



早坂 忠裕
はやさか ただひる

- 研究部教授、プロジェクト2-7FS
- バックグラウンド：大気物理学

地球温暖化問題を中心に、人間活動と自然との関係、特にアジアにおける社会経済の変動が大気環境や気候へ及ぼす影響について研究を進めています。



林 直樹
はやし なおき

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-2FR
- バックグラウンド：農村計画学、農業土木学

これまで、ため池の環境整備や管理、農村活性化について研究してきました。環境意識は、毒にも薬にもなります。慎重に解明を進めたいと思います。



半藤 逸樹
はんどう いつき

- 研究部 プロジェクト研究員
- バックグラウンド：地球システム科学、数理モデリング

「非科学の中の科学」を信条に、数理モデリングで地球システムの研究をしてきました。最近では、人類活動と気候の相互作用環の数理構造を診ています。



兵藤 不二夫
ひょうどう ふじお

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-3FR
- バックグラウンド：生態学

これまでの経験を活かしながら、人間を含む生物と環境の関係について理解を深めていきたいと考えています。



HUANG,
Shaopeng
ファン、シャオピン

- 招へい外国人研究員、プロジェクト2-4FR
- バックグラウンド：地球熱学、気候変動

気候変動研究に加えて、都市のヒートアイランド、大陸の熱流量、月の温度環境、桜と地温の関係など、温度に関する様々な科学に興味を持っています。



福嶋 義宏
ふくしま よしひろ

- 研究部教授、プロジェクト1-2FR
- バックグラウンド：水文学

地質、地形や植生被覆状態から河川流量変化の相違を推測するモデル構築を行ってきました。黄河では数十年の人為活動の軌跡を流量変化から探索します。



福永 健二
ふくなが けんじ

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト2-5FR
- バックグラウンド：栽培植物起源学、植物遺伝学

栽培植物の多様性を遺伝学的手法で解析するとともに、考古や歴史、民族資料を参照しながら、環境と農業の歴史を考察していきます。



細井 まゆみ
ほそい まゆみ

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト5-3FR
- バックグラウンド：ランドスケープデザイン

プロジェクトの成果の発信ならびに共同研究者とのさまざまな調整に、これまでの実務経験を活かして、取り組みたいと考えています。



細谷 葵
ほそや あおい

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト2-5FR
- バックグラウンド：植物考古学、民族考古学

考古遺跡で出土する植物遺存体の分析・解釈から、その植物を利用していた人間社会のあり方の復元を目指します。バリ島等の民族誌調査も行っています。



BORRÉ, Caroline
ボレー カロリン

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト4-4FR
- バックグラウンド：日本の民俗学

これまでに研究してきた「鯉の民俗学」を使って、日本人が氷に与えてきた意味とその変化を検討したいです。これによって、日本人の「目に見えない景観」と「目に見える景観」との相互関係を明らかにしたいと思います。



本庄 三恵
ほんじょう みえ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-4FR
- バックグラウンド：微生物生態学、陸生物学

自然生態系の中でのウィルスの動態および生残性に着目し、感染症の拡大と人間活動による環境改変と関係を明らかにしていきたいと思っています。



松川 太一
まつかわ たいち

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-2FR
- バックグラウンド：社会学、社会調査法

人間社会と自然環境の相互作用をその社会的側面に注目して検討すること。これが地球研で社会学研究者が果たすべき役割だと考えています。



松村 綾子
まつむら あやこ

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト5-2FR
- バックグラウンド：森林政策学

北海道での社会調査の経験を活かしながら、プロジェクトの円滑な運営を目指したいと思います。



MALLAH, Qasid Hussain
マッラー カシッド フサイン

- 招へい外国人研究員、プロジェクト3-3FR
- バックグラウンド：考古学

インダス文明期に存在した河川のうち、インダス河は残りハクラ河は現存しません。ハクラ河流域社会に何が起こったかを古代の記録を通して解明したいと思います。



源 利文
みなもと としふみ

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト5-4FR
- バックグラウンド：生態学、動物生理学、時間生物学

環境と病原性生物の動態の関連を調べます。フィールドと実験室を駆け回って、視野を広げたり狭めたりしながら、楽しく研究を行いたいと思っています。



宮寄 英寿
みやざき ひでとし

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト1-3FR
- バックグラウンド：土壌学

西アフリカの農村で肥沃度管理について研究してきました。舞台は南部アフリカに変わりますが、経験をいかして地球研の研究に貢献したいと思います。



村上 由美子
むらかみ ゆみこ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-3FR・4-4FR
- バックグラウンド：考古学、植生史学

遺跡で出土した木材や木製民具の検討を通じて、日本列島では昔から人々がどのように生活の中で木を使い、森と関わりをもってきたのか研究しています。



MWALE, Moses
ムワレ モーゼス

- 招へい外国人研究員、プロジェクト1-3FR
- バックグラウンド：土壌資源管理・水資源管理

私は持続的農業システムに関心があり、熱帯半乾燥地の生産性の低い地域でそれを増す研究しています。アグロフォレストリーや保全型農業下では、無機肥料を有機肥料とともに施用すると小規模農家の利益は増大します。



門司 和彦
もじ かずひこ

- 国内客員教授、長崎大学熱帯医学研究所教授
プロジェクト2-8PR
- バックグラウンド：人類生態学・熱帯公衆衛生学

感染症流行は生態学的・総合地球環境学的な事象です。熱帯アジアのフィールドで環境変化と感染症のデータを集積し、感染症発生の多様性に挑みます。



桃木 暁子
ももき あきこ

- 研究推進センター准教授
- バックグラウンド：生物学、動物行動学、
ヒューマン・エソロジー

ヒューマン・エソロジーという、人間を総合的に研究する学問分野での研究経験をいかして、地球研の研究活動に貢献したいと思います。



森 若葉
もり わかは

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト3-3FR
- バックグラウンド：シュメール学、言語学

紀元前三千年紀後半を中心に古代メソポタミアの文献研究をしています。楔形文字資料から知りうる当時の社会環境を明らかにしていきたいと思っています。



安田 恵子
やすだ けいこ

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員、プロジェクト3-2FR
- バックグラウンド：生物地理学

西表島での水文・森林調査等、各種フィールド調査の補助をしますが、生物（維管束植物、両生・爬虫類、昆虫）の同定と証拠標本の作成も担当します。



谷田貝 亜紀代
やたがい あきよ

- 研究部助教、プロジェクト3-4PR・4-5FR・1-3FR・1-2FR
- バックグラウンド：気候学、気象学

気候学的水循環の視点から、地球研プロジェクトに複数関わる一方で、アジアの環境問題診断に必須な、外部資金による降水データ作成プロジェクトの責任を負っています。



谷内 茂雄
やち しげお

- 研究部准教授
- バックグラウンド：数理生態学（進化生態学、生物多様性、流域管理）

空間スケールに着目した流域管理のプロジェクト3-1の成果と経験をもとに、新たな流域環境学、地球環境学の創出に向けた本、論文を執筆します。



山崎 かほり
やまさき かほり

- 研究部 プロジェクト研究推進支援員
- バックグラウンド：経済学

プロジェクトの研究活動が円滑に進むよう、プロジェクト運営全般のサポート・成果の発信・共同研究者との調整等に、これまでの経験を生かし貢献していきたい思います。



山下 聡
やました さとし

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト2-2FR
- バックグラウンド：林学、生態学

菌類は、森林の物質循環系において分解者としての役割を担っています。私は、人間活動の影響が菌類群集に及ぼす影響を明らかにしていくつもりです。



山中 裕樹
やまなか ひろき

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト5-4FR
- バックグラウンド：生態学、水産学

人間による水辺環境の改変と魚類の生活史の変化との関係について、生理生態学的な観点から明らかにしていきます。



山村 則男
やまむら のりお

- 国内客員教授、京都大学生態学研究センター教授、プロジェクト3-5PR
- バックグラウンド：数理生態学、進化生物学

人間活動下の生態系ネットワークの崩壊と再生の研究を始めます。自分自身は理系理論専門ですが、人文社会系との共同研究を楽しみにしています。



湯本 貴和
ゆもと たかかず

- 研究部教授、プロジェクト5-3FR
- バックグラウンド：生態学

日本列島で現在みられる自然を形作ってきた生態的なプロセスと人間活動の相互作用環を解明し、未来可能性のある日本の自然とは何かを考えていきます。



吉村 充則
よしむら みつのり

- 研究推進センター准教授
- バックグラウンド：地理情報システム、リモートセンシング

これまでに行ってきた「ものを測る研究」を生かして、空間スケールに着目した人間と自然の関わりについて研究を進めていきたいと考えています。



LINDSTRÖM, Kati
リンドストローム カティ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト4-4FR
- バックグラウンド：人類学

歴史的資料と人類学の方法を使って、文化の変容の中における景観認識の変化、とくに琵琶湖周辺の風景のイメージをテーマに研究を進めています。



LEKPRICHAKUL, Thamana
レクプリチャクル、タマナ

- 研究部 プロジェクト上級研究員、プロジェクト1-3FR
- バックグラウンド：保健衛生、人口、社会福祉、開発経済学、経営学

経済とは健康、平和（社会と環境の融合）、人類共存などの融合した富を築くものである。現在、気象変動に対するアフリカ社会の対処能力向上のための社会経済レジリエンス、貧困撲滅の問題を研究しています。



渡邊 紹裕
わたなべ つぎひろ

- 研究部教授、プロジェクト1-2FR・4-5FR
- バックグラウンド：農学土木学、灌漑排水学

終了したプロジェクト1-1の成果を踏まえて、引き続いて農業や農村における水利用と地域環境の関わり、とくに「水土の知」を考えていきます。



渡邊 三津子
わたなべ みつこ

- 研究部 プロジェクト研究員、プロジェクト4-5FR
- バックグラウンド：自然地理学、地形学、第四紀学

これまでに培った技術や経験を活かし、宇宙（衛星リモートセンシング）と地上の視点から、立体的に地表面とその変化の実態を把握します。